

(事後評価)

リサーチ・アドミニストレーター等のマネジメント人材に係る

質保証制度の実施

(実施期間：令和3年～令和5年)

実施機関：一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会

(総括責任者：小谷 元子)

取組の概要

令和元年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の構築に向けた調査研究」及び令和2年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証」において取りまとめられたUR A質保証制度の内容及び実施体制の提案に基づき、研修及び認定事業を行う機関として運営を行う。

(1) 評価結果

総合評価	質保証機関の 運営状況	UR A 質保証制度 の整備・認定 状況	研修の実施 状況について	今後の進め方
A	s	a	s	a

総合評価：A(所期の計画と同等の取組が行われている)

(2) 評価コメント

質保証機関の運営状況、UR A質保証制度の整備・認定状況、研修の実施状況等について、事業計画に基づき着実に遂行した。とりわけ、認定の独立性を担保する組織ならびに運営体制を整備するとともに、UR Aや大学等のニーズに寄り添った研修を提供していることは評価できる。認定制度の継続には、自立的で難しい取り組みが求められるが、UR A人材業務の多様化を踏まえた上で、関係団体の協力のもと、当認定を受けることの価値を高める取組に期待する。

- ・**質保証機関の運営状況：**一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構の設立及びUR A関係7団体の協力の下、大学等が広く事業に関わることが可能な体制を構築している。また、自己点検・評価委員会及び外部評価委員会を設置し指摘事項に対応する体制を整えている。これらと一体となり、制度の持続的な運営を目指し、研修受講料、認定審査料の設定、運営のコスト低減、制度利用者の拡充に積極的に取り組んだ結果、受講者、認定者数とも計画時の想定を上回っていることは高く評価できる。

- ・ **U R A 質保証制度の整備・認定状況**：審査の実施における手続等は全てオンライン上で完結するように設計し、「研修・審査ポータル」として運用するなど、受講者の利便性向上とコスト低減を両立させたことは評価できる。また、協力者会議、研修ワーキンググループ、審査ワーキンググループを設置することで、U R A や大学等のニーズ等を踏まえた質の確保を行うなど、当初に提案されたスキームに沿った認定を計画・実施したことは評価できる。
- ・ **研修の実施状況について**：受講者に対するアンケート結果において、毎年 9 割以上の受講者が普段の業務に役立つと回答しており、また、各科目における教材について、法令やガイドラインの改正や社会情勢の変化に対応して使用期限を 4 年と定めて見直しを行うなど、現場のニーズに寄り添った研修を提供していることは高く評価できる。
- ・ **今後の進め方**：認定の独立性を担保する組織体制の整備など、U R A 関係 7 団体の連携ならびに機関の長のコミットメントは十分に期待できる。一方、研修事業の国立研究開発法人科学技術振興機構への移管に伴い、認定事業単独で認定 U R A の審査を継続することになり、収支のバランスを含めた事業運営を工夫していくことが求められる。今後は、当認定のさらなる周知を行うとともに、関係団体の協力のもと、当認定を受けることの価値を高める取組が求められる。